



月2回刊=1684号
2025年11月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸九番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費を含む

地公共闘 確定闘争

納得できない 通勤手当4月遡及なし

11・29ヤマ場人事課総括課長交渉 11・6最終局面総務部長交渉

岩手県地方公務員共闘会議(議長・佐藤工岩教組委員長)は10月29日に2025確定闘争のヤマ場人事課総括課長交渉を、11月6日に最終局面となる福田総務部長との交渉を行った。10月29日には約80人が結集した総決起集会・県庁座り込みにより交渉団を支援した。佐藤議長は、交通用具利用に係る通勤手当の4月遡及改定を行わない回答となったことに対し「到底納得できない」と抗議し、遡及を含む議会提案を強く求めたうえで、2025確定闘争に係る交渉を終結した。



▲総務部長交渉に臨む地公共闘交渉団



▲総務部長に要求書を手渡す佐藤地公共闘議長(左)



▲80人を超える仲間が結集した総決起集会

給与改定
国家公務員給与法案の閣議決定で国の方向性が示されれば、会計年度任用職員と併せて、「条例案を12月定例会に提出したい」との回答を引き出した。差額支給は「年内にできるような作業を進めている」とし、具体的な支給日は、用途が立った段階で事務的に示されることとなった。

その後、11月11日に国家公務員給与法案の閣議決定が行われ、本県では条例案の12月定例会に提出する。一方「知事部局では、建設

定例会当初提案が行われる見通しとなった。**高齢職員処遇**
暫定再任用職員の格付について「業務量や業務内容の配慮等の諸事情を総合的に勘案し、個々の職員の格付を行っている」との回答にとどまった。

通勤手当(距離区分の額)
交通用具利用に係る既存距離区分の支給月額について「14km以上の距離区分の手当額を引き上げ、その引上げ幅は最大で8500円」とした。

築職や獣医師など特定の資格職を対象とした任期付職員採用を行う」とし、「出先機関の課長相当職又は専門幹級を想定し、行政職給料表5級相当の格付で、諸手当等の処遇も60歳前の一般職員と同様となる」「他職種での実施も含め幅広く検討していきたい」と言及した。

当該回答は納得できないものであったため、地公共闘では、県職労を含む構成7組合で知事あて「緊急要請打電」を実施し、改めて通勤手当の4月遡及改定を求めることとした。

長時間労働是正
「業務量に見合った適切な人員配置をするべき」と求めたことに対し、「適正な勤務時間管理があつて、

いづれも、県人勤のとおりに実施する」とした。**失職特例の導入**
「他自治体での適用

初めて適切な人員配置ができる」「全体の職員数は、行政需要や環境変化、県政の置かれている状況等から総合的に決定」とした。**心身の健康・ハラスメント対策**
特にハラスメントの行為者が幹部職員である場合等、を想定し「外部の第三者の相談窓口の設置についても具体的に進めるべき」と求めたことに対し「法令違反行為は公益通報窓口への通報対象であり、外部窓口である弁護士へ通報することも可能」とした。

「熊、出没注意」北海道旅行のお土産コーナーで販売されていたステッカーを思い出した。連日、クマの出没情報が著しく、全国的に人身被害が発生し、県内各地においても既に35件36人の人身被害が発生した(4月から11月2日)▼今年度の秋は、クマのエサとなるブナの大凶作が予想されているそうで、人里への出没の増加がその理由なのか。通勤時に盛岡市役所裏の中津川河川敷、岩手大学付近に、また盛岡市中央通り岩手銀行駐車場など中心市街地にも関わらず、盛岡市内の連日クマ出没情報が報じられる▼クマに遭遇してしまった場合の対処方法がマニュアル化されている。落ち着いて静かに立ち去る、熊を見ながらゆっくり後退、襲われそうになったら、うつ伏せになって、顔と首の後ろに手を構わして保護するというもの▼深夜まで灯りがついている県庁、深夜に及ぶ残業の職員には、帰宅途中にクマに遭遇しないか不安で、同様に思う職員も多いに違いない。欠員不補充に加え、平時でも業務量の多い職場では長期療養者も絶えない。クマも業務量増も冬眠に入り、安心して生活できる環境に戻りたい。

円」とした。一方で「本県では、過去の条例改正時(2008年12月)における県議会の附帯意見を踏まえ、過去1年分の県内のガソリン価格を反映した形で、独自に改定を行ってきたことから、今回についても将来に向かって、来年1月からの実施とする」「(国と異なり、今年4月遡及での改定をしない)」と回答した。

通勤手当(駐車場等手当)
「2026年4月から、月5000円上限で駐車場等の利用に対する手当を新設する」としたが、「国から制度の詳細が示されていないため、国・他県の動向も踏まえ検討し、一定の段階で制度の方向性について皆さまにお示しするようにしたい」とした。**特勤勤務手当に準ずる手当・宿直手当**
いづれも、県人勤のとおりに実施する」とした。

「業務量に見合った適切な人員配置をするべき」と求めたことに対し、「適正な勤務時間管理があつて、

初めて適切な人員配置ができる」「全体の職員数は、行政需要や環境変化、県政の置かれている状況等から総合的に決定」とした。**心身の健康・ハラスメント対策**
特にハラスメントの行為者が幹部職員である場合等、を想定し「外部の第三者の相談窓口の設置についても具体的に進めるべき」と求めたことに対し「法令違反行為は公益通報窓口への通報対象であり、外部窓口である弁護士へ通報することも可能」とした。

「熊、出没注意」北海道旅行のお土産コーナーで販売されていたステッカーを思い出した。連日、クマの出没情報が著しく、全国的に人身被害が発生し、県内各地においても既に35件36人の人身被害が発生した(4月から11月2日)▼今年度の秋は、クマのエサとなるブナの大凶作が予想されているそうで、人里への出没の増加がその理由なのか。通勤時に盛岡市役所裏の中津川河川敷、岩手大学付近に、また盛岡市中央通り岩手銀行駐車場など中心市街地にも関わらず、盛岡市内の連日クマ出没情報が報じられる▼クマに遭遇してしまった場合の対処方法がマニュアル化されている。落ち着いて静かに立ち去る、熊を見ながらゆっくり後退、襲われそうになったら、うつ伏せになって、顔と首の後ろに手を構わして保護するというもの▼深夜まで灯りがついている県庁、深夜に及ぶ残業の職員には、帰宅途中にクマに遭遇しないか不安で、同様に思う職員も多いに違いない。欠員不補充に加え、平時でも業務量の多い職場では長期療養者も絶えない。クマも業務量増も冬眠に入り、安心して生活できる環境に戻りたい。

県職労

1110・30人事課総括課長交渉 11・7総務部長交渉

防疫等作業手当・獣医師初任給調整手当 大幅引上げ勝ち取る

県職労は10月30日に人事課総括課長交渉を、11月7日に総務部長交渉を実施し、県職労独自課題に係る改善回答を求めた。

防疫等作業手当

「手当支給額を全国トップ水準に引き上げる条例案を県議会12月定例会に提案する」とした。家畜のさつ・焼却・埋却に直接関与する作業などに従事した場合は日額4000円、深夜に従事した場合は日額5000円となる。車両の消毒や集合施設で

獣医師初任給調整手当

「来年度から、初年度の支給額を、全国上位水準となる60000円に引き上げる条例案を県議会12月定例会に提案する」とした。

育休取得できる環境づくり

「勤勉手当の「育休応援加算」を本年12月期から新



▲総務部長に臨む県職労交渉団(手前)

総合案内員継続配置

来年度「土木センターが総務系の業務を担っている北上・遠野・千厩の3合同庁舎は任用を継続」とし、「任用終了する合同庁舎でも、来庁者の案内や行政情報サブセンターの運営方法

公舎の住環境

エアコンの設置、住宅設備の更新等を積極的に進め、借上公舎も積極的に導入するよう求めたことに対し「安定的な公舎の維持管理に努めていく」「公舎戸数不足があることは承知している。管財課に借上公舎の導入も含めた対応策を検討させている」とした。

「熊、出没注意」北海道旅行のお土産コーナーで販売されていたステッカーを思い出した。連日、クマの出没情報が著しく、全国的に人身被害が発生し、県内各地においても既に35件36人の人身被害が発生した(4月から11月2日)▼今年度の秋は、クマのエサとなるブナの大凶作が予想されているそうで、人里への出没の増加がその理由なのか。通勤時に盛岡市役所裏の中津川河川敷、岩手大学付近に、また盛岡市中央通り岩手銀行駐車場など中心市街地にも関わらず、盛岡市内の連日クマ出没情報が報じられる▼クマに遭遇してしまった場合の対処方法がマニュアル化されている。落ち着いて静かに立ち去る、熊を見ながらゆっくり後退、襲われそうになったら、うつ伏せになって、顔と首の後ろに手を構わして保護するというもの▼深夜まで灯りがついている県庁、深夜に及ぶ残業の職員には、帰宅途中にクマに遭遇しないか不安で、同様に思う職員も多いに違いない。欠員不補充に加え、平時でも業務量の多い職場では長期療養者も絶えない。クマも業務量増も冬眠に入り、安心して生活できる環境に戻りたい。

「熊、出没注意」北海道旅行のお土産コーナーで販売されていたステッカーを思い出した。連日、クマの出没情報が著しく、全国的に人身被害が発生し、県内各地においても既に35件36人の人身被害が発生した(4月から11月2日)▼今年度の秋は、クマのエサとなるブナの大凶作が予想されているそうで、人里への出没の増加がその理由なのか。通勤時に盛岡市役所裏の中津川河川敷、岩手大学付近に、また盛岡市中央通り岩手銀行駐車場など中心市街地にも関わらず、盛岡市内の連日クマ出没情報が報じられる▼クマに遭遇してしまった場合の対処方法がマニュアル化されている。落ち着いて静かに立ち去る、熊を見ながらゆっくり後退、襲われそうになったら、うつ伏せになって、顔と首の後ろに手を構わして保護するというもの▼深夜まで灯りがついている県庁、深夜に及ぶ残業の職員には、帰宅途中にクマに遭遇しないか不安で、同様に思う職員も多いに違いない。欠員不補充に加え、平時でも業務量の多い職場では長期療養者も絶えない。クマも業務量増も冬眠に入り、安心して生活できる環境に戻りたい。

胆江支部 独自交渉 職員の健康と働きやすい職場環境を



▲職場実態の改善を求め交渉に臨む胆江支部交渉団(右)

胆江支部は、9月25日に千葉敬仁県南広域振興局総務部長に対し胆江支部独自要求書を提出した。産業技術短期大学校水沢校の各講義室等にエアコンが設置されておらず生徒が体調を崩している実態や会計年度任用職員を一般職員に採用するしくみをつくる必要性な

どを訴えた。佐々木琢磨支部長からは、「振興局でできることは実施し、本庁への上申事項に対しては、本庁からの回答も確認したい」と伝えた。

要求書への回答は9月20日に届いたが、残念ながら上申した結果については、昨年度に具体的に示された回答以外は示されなかった。公舎へのエアコン設置や分庁舎へのエレベーター設置については、設置しない理由は延べられつつも設置する回答はもらえなかった。



▲千葉県南広域振興局総務部長に要求書を提出する佐々木胆江支部長

しかし、冷暖房の稼働については、廊下等も含め、職員の健康と働きやすい職場環境を確保する観点から引き続き弾力的な運用に努

めると回答があった。除雪についても、勤務時間中に除雪を実施すること併せ、勤務時間前に除雪した場合、超過勤務手当を支給することを確認した。また、奥州地区合同庁舎における昼食時のラジオ放送の修繕を今年度行うとの回答や、機械警備の異常音が鳴った際には県税部ではなく総務部で対応するよう措置を講

じるとの回答があった。

9月21日に開催した胆江支部拡大競争委員会では、総務長からの回答に対して「誰かが倒れないとエアコン設置を考えないのか。人間として耐えられる状況ではなく、生命が危険だということを確認すべきではないか」「県民の理解が得られないとの理由で公舎にエアコン設置しないとしているが、県民に問うことをしたのか。エアコンを設置しない方が理解を得られないのではないか」など怒りの声が上がリ、局長交渉で訴えることを確認しあった。

「誰かが倒れないとエアコン設置を考えないのか。人間として耐えられる状況ではなく、生命が危険だということを確認すべきではないか」など怒りの声が上がリ、局長交渉で訴えることを確認しあった。

ならず、笑いあう場になりました。優勝は、総務審査指導監分会佐藤さん、保健福祉環境部分会小野寺さん、農村整備室分会伊丹さんチームでした。

ボウリング後には、正式採用になった激励会が行われ、7人から正式に県職員になった決意の挨拶がありました。先輩組合員からは、「仕事でたくさんミスしていいし、自分たちを頼ってほしい。一緒にがんばろう」と話していました。

北上支部は、10月23日、北上合庁会議室に於いて、第63回定期大会を開催した。内藤支部長は、「支部活動方針を確認し、各分会、組合員の皆さんと共有しながら力を合わせていきたい」と冒頭挨拶した。

執行部からは、組織強化に向けて、新採用者の加入促進などの取り組みを進めている事、職場環境向上のため県南局4支部合同で要求している事などの取り組みについて報告した。

また、運動方針の具体的な4項目を示し、積極的な参画に向けた活動など、支部方針について、全て可決された。

最後に支部長の「団結頑

協議会 要請書提出・交渉に向けた意見交換会実施

試験研究機関連絡協議会
人員確保と研究に必要な予算の満額確保を！

- ① 各分会の主な声
- ② 人員配置上の課題
- ③ 欠員の早期解消及び産休・育休代替職員の確実な配置を要望する。
- ④ 土日に休めるよう、職員一人ひとりの負担が増えないよう、業務量に見合った人員体制の構築を要望する。
- ⑤ 技術職員の確保が困難な場合、事務職員の増員による負担軽減策を要望する。
- ⑥ キャリア形成、年齢バランス等の課題
- ⑦ 専門知識や技術を継承するため、業務を円滑に進め

るためにも年齢バランスを考慮した配置を要望する。

② 技術継承のため、研究員経験を有する人員の配置や一人配置となっている部門の職員複数配置を要望する。

③ 育成には時間を要するため、今後の人材育成を見据えた人員配置を要望する。

④ 研修や交流へ参加できるよう、制度を利用できるよう、そして業務に必要な資格を取得できるよう、予算や人員の確保といった環境の構築を要望する。

⑤ ジョブローテーションは

研究職等の専門職にはそぐわないため、導入について再考するよう要望する。

③ 県単研究費の確保課題

○ 予算が前年度同様でも物価や人件費の上昇により試料・機材の購入控えや業務の縮小等多大な影響があるため物価や人件費上昇を考慮した予算措置を要望する。

○ 削減前提の考え方だと必要予算の措置がされず、業務遂行が不可能となるため必要予算の確保を要望する。

④ 技能員・会計年度任用職員の配置課題

○ 会計年度任用職員は主たる業務を担っているため、必要定数の維持を要望する。

○ 会計年度任用職員のフル

タイム化を要望する。

⑤ 執務環境上の課題

○ サービス残業撲滅のため超過勤務手当の予算確保及び満額支給を要望する。

○ 引継ぎ期間や公舎の確実な確保のため人事異動の早期内示を要望する。

⑥ 研究員の処遇改善の課題

○ 若年層職員のみならず、中堅以上職員の賃金を含めた処遇改善を要望する。

⑦ 業務に必要な設備の課題

○ 故障等による業務への影響を防止し業務を円滑に推進するため、確実な予算措置による公用車・機械・機器・設備等の計画的な補修や更新を要望する。

○ 作業に必要な消耗品

について、2〜3年程度での定期的な更新を要望する。

○ 酷暑の中で作業をしており、熱中症の危険性が非常に高いため、空調服の必要数の貸与を要望する。



▲水産技術センター分会での意見交換会のようす



▲参加した新採用職員による始球式のようす

11月5日、胆江支部青年婦人部では「新採用職員正式採用おめでとう！ボウリング交流会」を開催しました。新規採用職員が正式採用を迎えたお祝いと組合員の交流をすべく開催し、26人(新採用7人)が参加しました。

8チーム対抗の激戦となりました。業務上関わりのない部署の仲間とも話す機会になりました。誰かがストライクを取ると、チーム内外の仲間同士ハイタッチを行い、お互いのスコアを喜び合うなど、普段見ない表情をしながら、楽しい交流ができました。ボウリングの上手い下手に関

わらず、笑いあう場になりました。優勝は、総務審査指導監分会佐藤さん、保健福祉環境部分会小野寺さん、農村整備室分会伊丹さんチームでした。

ボウリング後には、正式採用になった激励会が行われ、7人から正式に県職員になった決意の挨拶がありました。先輩組合員からは、「仕事でたくさんミスしていいし、自分たちを頼ってほしい。一緒にがんばろう」と話していました。

その後、執行部より組織強化のための今年度新採用職員者・未加入者の加入促進や、年齢層の大幅なベースアップを勝ち取るための積極的な取り組み、二戸支部独自の課題点について支部独自要求による労働条件改善に向けた取り組みを強化することなどを提起し、賛成多数で可決されました。

大会スローガンでは「組



▲二戸支部定期大会のようす

二戸支部は10月28日、定期大会を開催しました。来賓として県職労本部から北崎書記次長を招きました。

高橋支部長からは「人事院勧告では月例給・一時金共に引上げ改定、かつ月例給は全体的に引上げ改定となるので、勧告の確実な実施に向け定期闘争を頑張っていきましょう」とあいさつがありました。

その後、執行部より組織強化のための今年度新採用職員者・未加入者の加入促進や、年齢層の大幅なベースアップを勝ち取るための積極的な取り組み、二戸支部独自の課題点について支部独自要求による労働条件改善に向けた取り組みを強化することなどを提起し、賛成多数で可決されました。

大会スローガンでは「組

合の加入促進・支部活動の充実・25確定闘争での要求実現に向けた積極的な取り組み」を確認し、最後は支部長の団結ガンバローで閉会しました。



▲支部方針を確認し、全て可決された



充実した支部活動を展開しよう 北上支部で定期大会を開催

張ろう」の掛け声で、働きやすい職場環境へ向け、支部の仲間が連帯して取り組んでいくことを確認して大会は閉会した。